

2010年W杯においてGKが起点となった得点のパターンに関する研究

本田 豊 (競技スポーツ学科 情報戦略コース)
指導教員 望月 聡

キーワード：ゴールキーパー フィールド 攻撃の起点

1. 緒言

近年、サッカーでは、ゴールキーパー(GK)という特別なポジションが様々なルール改正や現代のサッカーの変化により改めて見直されてきている。それに伴いGKの役割は非常に重要になってきている。自分の守るゴール前にボールが来たときにのみプレーをすれば良いわけではない。ボールを保持したときの次の行動、つまり、6秒間という限られた時間の中で適切にフィールドができるかという1つの攻撃参加が重要になってきたといえるのである。

サッカー競技は、攻撃と守備が一瞬にして切り替わるチームゲームである。守備の最終者である GK からのパスは、攻撃の起点でもあるので非常に重要である。つまりゴールキーパーのフィールド次第で得点の可能性は大きく変わると考えられる。

2. 研究方法

本研究の調査対象は、2010年、南アフリカで開催された、W杯決勝トーナメント16試合のDVDを分析対象試合とした。DVDに収録された試合からGKがボールを保持し、どのようなパターンでシュート、ゴールに結びつくかを調べる。ポジション中にゴールキーパーを経由してゴール、またはシュートまでいく場合でもゴールキーパーが起点になったものとする。

3. 結果・考察

キーパーからの起点は予想していた結果より非常に少ないものだった。少なかった理由として考えられるのが、やはり代表のレベルになると攻守の切り替えがとても速く、キーパーがボールを保持したら、すぐに陣形を整えていたので

このレベルになるとそう簡単にはシュート、ゴールまでは結びつかなかった。

4. まとめ

本研究では2010年南アフリカW杯においてGKが起点となったシュート、ゴールに関する研究を目的として、2010年南アフリカW杯の映像を参考に研究した。

今回のW杯では試合会場の標高が高く、非常にボールが飛んだためキックによるキーパーからの起点が見られた。学生レベルの試合とは違い攻守の切り替えが非常に速くキーパーがボールを保持してもカウンターなどにつながる場面はあまり見受けられなかった。キックの精度も非常に高く、高地とはいえキック力も非常にあった。

5. 参考文献

日本サッカー協会

<http://www.jfa.or.jp/>

2010年南アフリカW杯nikkansports.com

<http://southafrica2010.nikkansports.com/schedule/final.html>

サッカー用語の基礎知識

<http://www.scn-net.ne.jp/~sigematu/yougo/yougo2.html>